

阿部地先のトコブシとサザエの漁獲サイズと個体成長の推定 — II

小島 博・谷本 尚則

前年度に引続いて、阿部漁業協同組合の魚市場に水揚げされたトコブシ(方言ナガレコ)とサザエの漁獲サイズを測定した。この調査はトコブシとサザエの資源増殖並びに保護上の問題点を明らかにすることを目的としている。

1 材料と方法

由岐町阿部の魚市場に水揚げされたトコブシの殻長、サザエの殻高を測定した。測定は昭和57年7月9日から9月22日の間に6回実施した。1回の測定にはトコブシが121~177個、総計896個、一方サザエは1回の測定に121~172個、総計847個であった。

2 結果

トコブシとサザエの測定結果を表1に示した。

表1 トコブシとサザエの漁獲サイズ組成(%)

サイズ(mm)	トコブシ	サザエ
30-	0.8	
35-	3.6	
40-	9.4	
45-	13.5	
50-	17.7	3.8
55-	17.3	14.7
60-	17.2	29.2
65-	9.5	26.9
70-	6.5	11.8
75-	4.1	4.4
80-	0.3	4.0
85-	0.1	3.2
90-		0.9
95-		0.9
100-		0.1

トコブシの漁獲サイズは殻長30~90mmで、平均殻長は57mmであった。殻長40~70mmの範囲の貝が全体の85%を占めていた。サザエの漁獲サイズは殻高50~105mmで、平均殻高は57mmであった。殻高55~75mmの貝が全体の83%を占めていた。

漁獲サザエの測定日ごとの殻高組成(%), 測定数及び平均殻高を表2に示した。

表2 昭和57年度漁獲サザエの殻高組成(%)

阿部漁協

	7月9日	7月21日	8月6日	8月31日	9月6日	9月22日	合計
50-	6.61	0.77	5.14	6.39	2.61	0.73	3.77
55-	16.52	11.62	19.11	13.95	18.30	8.82	14.75
60-	39.66	27.13	30.14	30.23	27.45	21.32	29.16
65-	26.44	29.45	33.82	24.41	24.18	24.26	26.91
70-	7.43	13.95	8.08	11.62	11.76	17.64	11.80
75-	1.65	5.42	1.47	8.13	3.26	5.14	4.36
80-	0.82	6.97	2.20	1.16	4.57	8.82	4.01
85-	0.82	4.65		2.90	5.88	4.41	3.18
90-				1.16	0.65	3.67	0.94
95-					1.30	4.41	0.94
100-						0.73	0.11
測定数	121	129	136	172	153	136	847
平均殻高	63.7	68.1	64.2	66.1	67.2	71.5	66.8

漁獲の最も多いサイズは60～70mmで、平均殻高は64～72mmの範囲にある。漁期の進行と共に漁獲サイズが大きくなる傾向が認められる。

3 考 察

漁獲されたトコブシの平均殻長は57mmで前年度に比べて3mm大きい。殻長組成を前年度と比較すると殻長55mm以下で小さく、55mm以上で大きい。特に殻長60～75mmのものを比較すると38%増加している。

漁獲されたサザエの平均殻高は67mmで前年度に比べ6mm小さい。殻高組成を前年度に比較すると殻高70mm以下の貝が増加し、70mm以上の貝が激減している。殻高70～90mmの貝は昭和56年度の64%から23%に減少している。

漁獲されたトコブシ、サザエの殻長組成の変化は主として年級群の発生量に負うところが大きいと考えられ、年級群を分離することが今後の課題である。放流トコブシの追跡調査による成長の季節変化や年間成長量から年級群の分離方法を検討する必要がある。また、来年度以降についても市場調査を継続し、漁獲サイズの変化に注目したい。